

My Town Topics

地域の行事や身近な話題、耳よりな情報をお待ちしています。

★ 地域 長島中で三味線教室 地域の愛好家の手ほどきを受ける

長島中学校は1月25日、地域の人材を活用した授業を行おうと、地元の和楽器愛好家である岩崎ムツエさん（浜漣）、大平由美子さん（指江）を講師に招き、三味線と琴の音色や基礎的な奏法を学びました。

初めて三味線や琴に触れる生徒が多く、講師の演奏に聞き入ったり、手ほどきを受けながら演奏に夢中になったりして、楽しんでいる様子でした。



↑三味線の基本奏法を学び、日本的な音色を楽しむ

↓桃源郷で入所者にバレイショをプレゼントする山迫委員



★ バレイショ 農業委員会が実証展示ほ場で収穫 バレイショ 180 ㌔を贈る

長島町農業委員会は1月9日、特別養護老人ホーム桃源郷と鷹巣学校給食センターにバレイショを贈呈しました。

同委員会は同日、防霜対策として設置した実証展示ほ場でバレイショを収穫。委員会を代表して山迫三郎委員が桃源郷に100㌔、給食センターに80㌔のとれたてのバレイショを届けました。

★ 東 本町産プリをトップセールス 南アジアで販売に手ごたえ

1月15日から18日までの4日間、鹿児島県海外商談会がシンガポールで開催され、川添健町長は伊藤祐一郎鹿児島県知事、長元信男東町漁業協同組合代表理事組合長らとともにトップセールスを行いました。

16日は、同市内にある明治屋、伊勢丹、高島屋などのデパートを訪問し、本町産プリの販売協力を依頼。続いて県知事、県議団、県内商社120人以上が集う鹿児島・シンガポール交流会議に出席し、本町産プリなどの県内特産品で試食懇談会が行われました。

17日は、同市内にある日本交流センターで地元商社との直接商談会に挑み、プリの刺身や照り焼きが好評で、東南アジアでの販売に手ごたえを感じました。

川添町長は、2月中旬に国内の都市圏でバレイショの販売促進も行う予定です。



↑交流会議の参加者にプリの試食を進める川添町長



←現地のデパートでプリの販売を依頼する川添町長ら